

ちぐまや市報

<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/keitai/index.html>
koho@city.yamaguchi.lg.jp



おめでとう! 山口国体

あと 395 日

おめでとう! 山口大会

あと 416 日



山口開府六五〇年

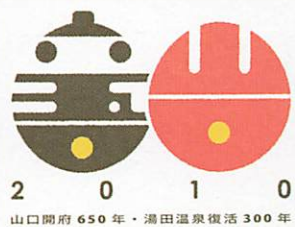
P.2

中谷美二子+高谷史郎
 クラウド フォレスト
 「CLOUD FOREST」

2010
 9.1
 September
 No.118

9月18日(土)～26日(日)

9時～16時
国宝瑠璃光寺五重塔



山口開府650年・湯田温泉復活300年

山口開府650年

今年、室町時代の守護大名・大内弘世により山口開府がなされたことと伝えられる年から数えて650年の節目になります。当時の京都に並ぶほど栄え、その後も数々の歴史の舞台となってきた山口は、開府当時の街並みを今も多く残しています。今回は、2つの文化財の特別公開を軸に、さまざまに展開する記念事業の概要をお伝えします。

市文化政策課 (☎083・934・2717)

国宝瑠璃光寺五重塔 特別公開

国宝瑠璃光寺五重塔は、26代大内盛見が、兄義弘の菩提を弔うために建立。大内文化の最高傑作で、日本三名塔の一つに数えられます。今回は和様式を基本とする五重塔にあつて他に類例のない「層目の唐様式の「四形須弥壇」や「心柱」を公開します。

中央に真柱。お東なては、優れ技術は、耐震性に、そのスリ、京に、います。

円形の須弥壇を持つ五重塔は、全国でもここだけです。

山口ゆらめき回廊も併せて開催!

9月18日(土)～
20日(月・祝)
19時～21時30分
香山公園・雪舟庭



山口開府650年にあたり



山口市長
渡辺純忠

本市を形づくる「ひと」「まち」「歴史や文化」など、山口がまちとしての原形を整えるきっかけとなったのは、今から650年前にさかのぼります。

大内氏は、京都をはじめ中国大陸からさまざまな文化、学問、宗教を寛容に受け入れ、それらを自国のものと融合させることにより、西国一といわれるほどの

経済発展を遂げるとともに、独自性あふれる固有の文化を生み出しました。

こつした大内氏の創造的なまちづくりの姿は、山口に暮らす私たちの誇りであると同時に、その精神は、貴重な歴史文化を守り、新しいものと融和させ、創造的な文化を生み出すとするエネルギーを発する遺伝子として脈々と後世に受け継がれていると感じております。

山口開府から650年を迎えた今年、私たちは、さらなる未来へと続く歴史の中継ぎ役として今を生きています。この機会に大内氏のまちづくりへの想いをあらためて心に深く留め、将来を見据えた創造的活動に民間組織や市民のみならずと協働で、取り組んで参りたいと思っております。

観光地としての山口

周遊してもらうことでわかる
本市の観光の魅力を伝えたい
「観光立市やまぐち」

山口開府650年の記念事業を積極的に、効果的に市外にPRし、誘客を促進するために、記念事業の関係団体と行政が連携して「観光交流促進戦略会議」を組織しました。今回の記念事業の取り組みを発信する広報戦略として、山口開府650年のシン



ボルマークを作成したほか、「四神が護るパワースポットやまぐち」という新しいテーマを決め、観光パンフレットやポスター等を作成して、積極的なPR活動を展開しています。

市内を周遊していただくことで、観光客の満足度の向上、湯田温泉の宿泊客の増加を図り、本市全体の地域経済の活性化につなげていきます。



第15回アートふる山口

10月2日(土)～3日(日)

大内文化特定地域「一の坂川」「豎小路」周辺



街がまるごと美術館に！民家やお店を小さな美術館に見立て、さまざまな作品を公開。大内氏関連や幕末から明治維新にかけての文化財が数多く残る街並みをお楽しみいただけます。

アートふるリバーナイト ～キャンドル2010～

一の坂川

9月25日(土)・26日(日)・
30日(木)・10月1日(金)・
2日(土)
18:00～21:00(雨天中止)

「四季～光と音のコラボレーション～」

山口大学・山口県立大学・山口芸術短期大学の学生で構成する地域活動おたすけターミナル・メディエーターが企画し、亀山橋から春日橋までを春夏秋冬の四季をイメージした800本の竹灯籠の灯りと音楽で彩ります。



問い合わせ

アートふる山口実行委員会事務局 (☎ 083-920-9220)

市民主体のまちづくり活動が、山口開府650年を彩ります！

大内文化の
魅力

風情豊かな「まちなみ」と、
伝統と進取の気風を受け継ぐ

「大内文化特定地域」には、大内氏遺跡「館跡」「築山跡」や国宝「瑠璃光寺五重塔」などの室町時代に栄えた大内氏の文化財や「十明亭」、「山口市菜香亭」をはじめとする幕末・明治維新以降の歴史遺産など、多くの魅力的なスポットがあります。

それと同じくらい本市が誇れるのは、大内氏の時代からの歴史と伝統に培われた文化的で進取の気風に富んだ風土が礎

となり、そこで暮らす人々の長年の生活の中から醸し出されてきた伝統的な文化が今日まで親しく継承され、今もなお、生活の中に広く深く息づいていることです。

本市では、民間と行政が一体となつて、大内文化という財産を活用したさまざまな取り組みを展開し、市民と市民、市民と観光客との交流を促進して、賑わいあふれるまちづくりを進めています。



10月2日(土)～3日(日)

9時～16時

龍福寺本堂



■内部の状況

■檜皮葺作業風景(次頁参照)

公開内容

- ①本堂内部の公開
- ②檜皮葺の作業風景の公開
- ③槍鉋(ヤリガンナ)の実演

今回の復原大改修で、建立当時の姿である檜皮葺に生まれ変わります。



重要文化財龍福寺本堂 復原大改修特別公開

1206年に創建。陶晴賢の乱で焼失した後、1557年に毛利隆元が大内氏館跡に再建した曹洞宗の名刹です。明治14年に火災に遭い、大内氏の氏寺興隆寺の釈迦堂を移築したものが今ある本堂です。

現在保存修理工事中であり、檜皮葺の葺き替え作業の様子を間近にご覧いただけます。



(解体改修前の状況)



龍福寺本堂

正面五間・奥行五間・一重・入母屋造・棧瓦葺きで、背面側に一間の下屋を設けている。室町期の建築様式が残る和様の本堂として、昭和29年国の重要文化財に指定された。

龍福寺

毛利隆元公によって先の守護大名大内氏第31代義隆公の菩提をとむらうため、弘治3年(1557)大内氏館跡に再建された曹洞宗の寺院。

龍福寺本堂復原改修特別公開のみどころ

「檜皮師の視点から」

龍福寺本堂復原大改修特別公開では、檜皮師の技術を間近でご覧いただけます。今回の特別公開の注目点と檜皮葺の魅力などを、県内でただ一人の檜皮師・佐々木真さんに語っていただきました。



平安の技術を現在に伝える匠

ひわだし まさき 中と
檜皮師 佐々木 真 さん (40)

〔有〕ひわだや代表。檜の樹皮で屋根を葺く、県内唯一（全国には約100人）の檜皮師。20歳で大西安夫氏（国の選定保存技術保持者）に師事し、技術を学ぶ。これまで国内外約80の文化財を修復。市内の文化財は、約90%の屋根の葺き替えに携わっている。その他、榎や杉の薄板で葺く「柿葺」、「銅板葺」といった日本古来の伝統的な屋根葺き技術も有している。全国社寺等屋根工事技術保存会会員。円政寺町在住。

◆自身の活動の状況等をブログで配信中
「檜皮葺師の徒然日記」で検索

特別公開のみどころ

通常、特に文化財の屋根は見上げることしかできない場合が多いのですが、今回の特別公開は、間近で見ることができると少ない機会です。

大工さんが1mm以下の精度で仕上げた骨組みに、4人の檜皮師が施した、檜皮の優美な曲線の詳細がご覧いただけます。

また、檜皮師の腕の見せどころ「軒」にも注目してください。

すのこを固定する竹釘（もぐさ）を速く打ちます。真つすくに見え

るよう、中ほどを少しえぐっていただきます。ほかにも色々な技術が隠されています。ぜひ、足を運んでいただき、檜皮を身近に感じていただけたら嬉しいです。



佐々木さんの横顔

千年の歴史への敬意と誇り

日本の伝統文化にかかわりながら、技術を次の世代に伝えていくことができるこの仕事に誇りを感じています。

想像力の世界

土地、気候風土、屋根の形状など、同じものは一つとしてありません。これまで作業した約

80力所のすべてが新たな挑戦でした。日光、風雨などにより損傷の激しかった部分には、培った技術を注いで葺き替えを行います。

蓄積される技術と精神力

早い人で10年、約30力所の屋根を葺いたところに、一人前と認めてもらえます。檜皮葺は、どんなに経験を積んだ職人でも、1日に1坪（畳2枚程度）が限界と言われ、技術に加えて根気も必要です。

大切な人間関係

現場責任者となれば、大工さんとの調整なども行います。また、さまざまな情報網や人脈を駆使して、最近では入手が困難な、良質な檜皮も確保します。



とても気さくで、現場のみなさんへの敬意を忘れない誠実な方でしたが、いざ、作業に入られると、「プロの職人」でした。龍福寺の改修には、丹波産の最高級檜皮が使用されています。これも佐々木さんの「腕」と「人柄」によるもので、市内の文化財建造物にとって、大変心強い方です。

今回は、良い檜皮が準備できて安心しています。

将来の夢

多くの市民のみなさんに檜皮葺を見ていただき、檜皮師の仕事を知ってもらいたいです。そして、伝統文化に親しみ、愛着を持ってもらえたら嬉しいですね。

檜皮葺を知ってください

【使用する道具】

は、意外にも3種類。それぞれ
① 檜皮包丁…檜皮を加工します
② 屋根金槌…竹釘を打ち止めます
③ ちょうな…軒を切ります



【実際の作業】

水でぬらし、密着性を高めた厚さ約0.9mmの檜皮が美しい線を描くよう調整しながら並べ、先を約1.2cmずつ上にずらして重ねます。これを5枚重ねるごとに竹釘で固定します。この作業を繰り返して、仕上げを行うと厚みは約10cmになります。

数少ない追加技術「水切銅板」
軒に雨水がまわらないので、長持ちします。

常に全体の美しさを意識しながら、約6cm上に進んで固定していきます。



蒸し暑い中、気の遠くなる作業

約6cm

山口ゆらめき回廊開催

9月18日(土)～20日(月・祝)
19時～21時30分
香山公園・常栄寺雪舟庭

瑠璃光寺五重塔のある香山公園や常栄寺雪舟庭などをライトアップし、さらに香山公園では約1000本のキャンドルライトを灯します。やわらかな灯りがゆらめく幻想的な空間で、公園や庭園内をゆっくりと散策いただけます。

香山公園では特設ステージを設置してさまざまな音楽イベントも開催します。ぜひご来場ください。

■入場料

・香山公園：無料

・常栄寺雪舟庭：大人300円

※当日は、大変混み合うことが予想されます。県庁、市菜香亭の駐車場をご利用ください。

■問い合わせ 市観光課

(☎083-934-2810)

開催イベント

香山公園特設ステージ 入場無料

開演 19時30分～
20時30分～ ※1日2回公演

9月18日(土)

古いヨーロッパの恋唄を

ソプラノポップシンガー 深川和美
リュート 高本一郎

9月19日(日)

中国の伝統的民族楽器二胡

二胡奏者 王丹

9月20日(月・祝)

沖縄民謡と日本歌曲

ヴァイオリン・ピアノ ダリア

香山公園露山堂前

9月18日(土) 17時30分～20時

抹茶接待 (一席500円)

茶道裏千家淡交会山口支部山口青年部

市菜香亭

9月19日(日) 開演 18時30分～

山口ゆらめき回廊能楽らいぶ

「光の素足」(入場料1,000円)

観世流能楽師 中所宜夫、鈴木啓吾 ほか

キャンドル点灯ボランティア募集

国宝 瑠璃光寺五重塔がある香山公園の散策道を、約1,000本のキャンドルの灯で飾り、一緒に観光客のおもてなしをしてみませんか。

■日時 9月18日(土)～20日(月・祝)

18時～21時30分 ※単日参加可

■集合場所 香山公園入口東屋付近(香山町7-1)

■内容 キャンドルの設置、点灯作業

■対象 個人、グループいずれも可

※中学生以下は保護者同伴

■申し込み・問い合わせ 9月16日(木)までに、市観光課(☎083-934-2810)



定期観光バス

特別割引料金実施中

観光案内地図



山口市にも市内を巡る定期観光バスがあるのを存じですか。山口開府650年・湯田温泉復活300年を記念して、土日・祝日限定の特別料金で運行されます。市民のみなさんもこの機会にぜひご利用ください。バスガイドさんの案内のもと、観光地やまぐちの魅力を再発見できるはずです。

9月1日(水)～
11月30日(火)までの
土日・祝日限定料金

	大人 (高校生以上)	学生 (中学生)	小人 (小学生以下)
所要時間約3時間30分	1,980円	1,330円	780円
1便 湯田温泉発 8時25分	650円	650円	300円
2便 湯田温泉発 13時40分			
山口駅発 13時55分			

(平日は通常料金です)

毎日運行
全便予約制(空席があれば当日予約でも可)
出発20分前に要乗車手続のこと
防長交通(株)湯田温泉案内所

TEL 083-925-0001



ごみの出し方 Q & A

ごみに関するお問い合わせはこちら
市ごみ情報ダイヤル
平日 8 時 30 分～17 時 15 分
(☎ 083-902-0033)

みなさんの家庭から出るごみを地域のごみステーションに出す方法について、多く寄せられる質問にお答えします。

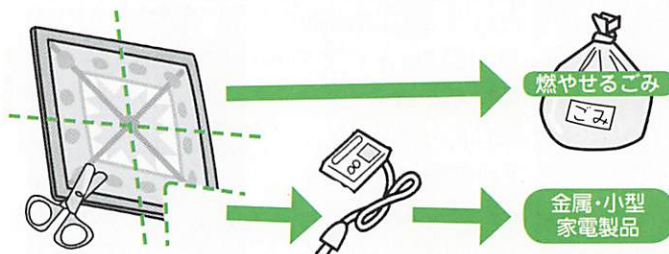
■問い合わせ 市資源循環推進課 (☎ 083-941-2185)



カーペットや布団、毛布を地域のごみステーションに出すときはどうすればいいの？



一辺を 50cm 程度に切り「山口市燃やせるごみ指定収集袋」に入れて出してください。



※電気カーペットや電気毛布は、布部分とコントローラー・電源コードに分けてください。

カーペットや布部分は切って「燃やせるごみ」、コントローラー・電源コードは「金属・小型家電製品」として出してください。

※粗大ごみ戸別収集や、市の処理施設への直接搬入も可能です。(有料)

※搬入場所は「市ごみ・資源収集カレンダー」もしくは市ホームページ(表紙参照)に掲載しています。



「紙製容器包装」ってどういうもの？

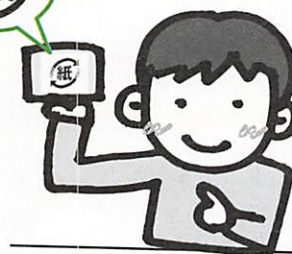


お店などで商品を購入した時に、商品を入れているもの(容器)、包んでいるもの(包装)です。



紙製容器包装
(紙のマークが目印)

商品を入れているもの、包んでいるものが対象です。



商品そのものは容器包装ではありません

※次のものは「紙製容器包装」ではなく、商品そのものです。(例) 色紙、紙製の小物入れ など



「金属・小型家電製品」とはどんなもの？

※阿知須地域の方は、分別方法に異なる点があるため、併せて「市ごみ・資源収集カレンダー(19 ページ)」を参照してください。



1 辺が 1 m を超えない下記のもので。(自転車、ブラインド、トタン、物干し台および竿は可)

金属製品

全体的に金属の占める割合が多いもの

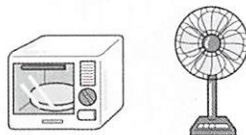
- ・なべ(ホーロー製は「燃やせないごみ」)
- ・はさみ
- ・自転車



小型家電製品

コンセントにつないで使う家電製品

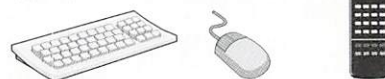
- ・扇風機
- ・電子レンジ
- ・ファンヒーター(燃料は使い切ってください)
- ・充電式シェーバー



家電製品の付属品や接続して使用するもの

- ・ビデオデッキ等のリモコン(電池は取り出してください)
- ・パソコンのキーボードやマウス(単品で出す場合)

※パソコン本体・ディスプレイは製造メーカー、自作パソコンはパソコン3R推進協会(☎ 03-5282-7685)に直接回収の申し込みをお願いします。



～ごみステーションには出せません～

エアコン、テレビ、冷蔵(凍)庫、洗濯機・衣類乾燥機は家電リサイクル対象品目です。

詳細は、「市ごみ・資源収集カレンダー(23 ページ)」または「ごみ分別の手引き(22 ページ)」で確認していただくか、市ごみ情報ダイヤル(右上参照)にお問い合わせください。



国勢調査

ニッポンの今を知り、未来をつくるための調査です。

10月1日は、国勢調査。



平成22年10月1日に、「平成22年国勢調査」を実施します。日本に住むすべての人・世帯を対象にしたこの統計調査の結果は、児童福祉、高齢者の介護・医療、若者の雇用対策など、私たちの暮らしのさまざまな分野で役立てられる大切なデータとなります。10月1日のあなたの状況を調査票に記入し、ご提出ください。

■問い合わせ

平成22年国勢調査山口市実施本部
問い合わせが殺到することもありますので、下表のとおり担当地域を設けています。お住まいの地域の担当へお問い合わせください。

地域	担当
大殿、白石、湯田、仁保、小鯖、大内、宮野、吉敷、平川、大歳、徳地、阿東	第一事務局 (山口総合支所) ☎083-934-2748
陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、嘉川、佐山、小郡、秋穂、阿知須	第二事務局 (小郡総合支所) ☎083-973-2451

国勢調査とは？

国勢調査は、統計法という法律に基づき、日本に住んでいるすべての人・世帯を対象とする国の最も基本的な統計調査です。国内の人口や世帯数、男女・年齢別、産業別などの人口の構造や世帯の構成・居住状況を明らかにすることを目的として、大正9年から5年ごとに行われています。平成22年国勢調査は、人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を描く上で欠くことのできないデータを得るための重要な調査となります。

平成22年の国勢調査はここが新しい！

個人情報保護意識に配慮し、封筒に封をして調査員に提出します。

お忙しい方も回答しやすいよう、郵送での提出もできます。



国勢調査員について



調査員は、調査で知った世帯のことは、決して他の人に話しません。また、なりすまし防止のため、顔写真付きの「国勢調査員証」を身につけています。

ご安心ください！

- 国勢調査には、統計法による厳格な個人情報保護が定められています。
- 調査員は、調査票の入った封筒を開封せず、封をしたまま市に提出します。
- 国勢調査に従事する者には、統計法による守秘義務が課せられています。

調査の流れ

9月下旬 調査票等配布

国勢調査員が、みなさんのお宅へ調査票の配布にお伺いします。その際に「調査票の記入のしかた」と「郵送提出用封筒」も「調査書類収納封筒」に同封し、一緒にお配りします。お留守の場合は「連絡メモ」を郵便受け等に投函しております。

10月上旬 調査票提出

調査票はどちらかご希望の方法でご提出ください。

調査員に提出

10月1日以後に、調査員が回収にお伺いしますので、その際に「調査書類収納封筒」に封をして、調査員にお渡しください。



郵送で提出

「郵送提出用封筒」を用いて市へ直接郵送（切手不要）。



10月中旬 調査票確認

市への郵送提出が確認できない場合、調査員が再度お伺いします。また、調査票に空欄があった場合など、調査票の内容について、市から連絡することがあります。

市政トピックス

「市立秋穂図書館」を開館

8月1日、市立秋穂図書館の開館式典を開催しました。秋穂図書館は、市内6番目の市立図書館で、今年4月にオープンした秋穂地域交流センターに併設する形で整備したものです。

式典で市長は「本日開館した本図書館が、地域を支える情報の拠点として、多くの人に快適に利用いただける施設となり、また、地域や住民の方々にとって役立つ図書館として、気軽に集える地域の交流拠点づくりに貢献できる施設となることを大いに期待しています。」と述べました。その後、「図書館と友だちの会・秋穂」から布絵本の寄贈があり、市長から感謝状の贈呈がありました。

りました。

市では、市立図書館の基本理念「どんな時も、身近に役立つ、あなたの図書館」を目指し、地域とともに成長する図書館として、市民の皆様にご満足いただけるサービスの充実を努めていきます。

秋穂図書館

(☎083・984・0065)



テープカットの様子

「台湾南投県山口県訪問団」が市長を表敬訪問

8月6日、李朝卿知事を団長とする「台湾南投県山口県訪問団」が本市を来訪し、市長を表敬訪問しました。

今回の訪問は、「台湾南投県観光物産セミナー」および、「第2回南投県物産展」を開催する目的によるものです。

市長は歓迎のあいさつで「山口七夕ちようちんまつり期間中の物産展開催

を、心から喜んでいきます。まつりの幻想的な雰囲気の中で、山口の歴史・文化にもぜひ触れていただきたい」と語りました。

市では今後も、相互の観光交流や物産交流が一層活発になるよう、取り組みを進めていきます。

市観光課

(☎083・934・2800)

福島市長が表敬訪問、今後の交流を確認

8月2日、瀬戸孝則福島市長が本市を来訪し、福島市の特産品「もも」を市長に贈呈しました。



渡辺市長にももを贈呈する瀬戸福島市長（左）

今回の訪問は、平成21年2月に福島市内で開催された交流イベント「中也がむすぶ山口と福島 詩の二都物語2009」に渡辺市長が参加し、詩を朗読したことへの返礼と、平成23年3月12日（土）に福島市内で開催予定の「（仮称）詩でつなぐ都市交流事業」への協力を要請するためのものです。

市長は、昨年7月の豪雨災害の際の、福島市からの保存食支援に礼を述べ、「両市は、県庁所在地であること、分散型都市構造であることなど、共通点が多く、今後とも交流していきたい。来年のイベントにもぜひ参加させていただきたい。」と述べました。

市では今後も、詩をテーマとした文化交流をはじめ、物産交流、観光交流など幅広い都市間交流につなげていきます。

市経済産業部政策管理室

(☎083・934・2809)

福島市長「美味日本 きたぐにさん」を視察

表敬訪問の後、瀬戸福島市長は、道場門前商店街の、東北地方の物産を集めたアンテナショップ「美味日本 きたぐにさん」を視察しました。

「美味日本 きたぐにさん」は、市の委託事業として同商店街内に8月1日に開店したもので、福島市の特産品であるゆず大根や桃の漬物、はちみつなどの加工品を販売していることから、今回の視察となりました。

市商工振興課

(☎083・934・2719)



美味日本
きたぐにさん

青森県、岩手県、秋田県、福島市、米沢市、魚沼市の特産品を取り扱い。おにぎりなどのイートインコーナーも設置



「山口市・昌原市姉妹都市締結1周年記念親善交流サッカー大会」を開催

チャンウォン

8月2日、やまぐちサッカー交流広場で、本市と韓国 昌原市との姉妹都市締結1周年を記念する、親善交流サッカー大会を開催しました。これは、昌原市との姉妹都市締結後、初の交流事業です。

開会式で市長は、「サッカーのプレー中はもちろん、昼食、休憩時間を楽しみながら、両国の同世代の友情を



選手たちが、記念品の寄せ書き入りサッカーボールを交換

深めてください」と期待を述べました。

大会に参加した、昌原市の昌原小学校、山口市の徳地中央サッカースポーツ少年団、レオネ山口の選手たちは、サッカーを通じて交流し、お互いの親睦を深めました。また地元の徳地八坂地区の方から、昼食のお世話など、温かいおもてなしを受けました。

市では今後も、昌原市との交流をはじめ、東アジア地域の都市間交流を進めていきます。

市国際交流室

☎083・934・2725

「平川子育てつどいの広場ひらひら」オープン

平川子育てつどいの広場運営協議会が地域の子育て支援の活動拠点として整備を進めていた平川子育てつどいの広場が7月27日に運営を開始し、7月31日にオープニング式典が開催されました。

この施設は、市次世代育成支援行動計画（平成21年3月策定）の重点事業のひとつ「地域型つどいの広場設置助成事業」により、市民と行政が協働して地域における子育て環境の充実を図る目的で設置され、市内で5カ所目となります。

「ひらひら」という名称には、多くの方が集い、ちようちよの様に仲良

く穏やかに遊ぶ場となるようにとの願いが込められています。

運営協議会の芳西靖幸会長は、式典で「地域で互いに助け合い、多種多様な人が協力し合って地域の子どもを育てていく場として、若い方々が気軽に立ち寄ってもらいたい」と、述べられました。

「平川子育てつどいの広場ひらひら」

■開館日時 月・火・木曜10時～15時

■利用料 1家族1回100円

■場所・問い合わせ 黒川2393

☎083・923・1606

市いづも家庭課

☎083・934・2767

地域で輝くひと

その2

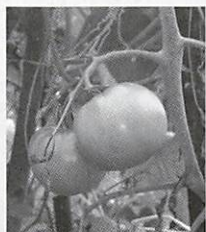
キシタの串ぐらし

～ 緑のふるさと協力隊 コラム ～



家の前の畑で育てた野菜。近所の方が訪ねて来ては手直ししてくれたおかげで、無事収穫できました！

このコラムが出るころにはもう秋風が吹いているのかも知れませんが、ただ今夏真っ盛り。毎日暑いです。とは言っても、私のいる串ではありがたいことに夜は割と涼しくて、窓を開けて扇風機を回せばぐっすり眠れます。奈良にいた時はクーラー無しではとても眠れなかったことを思うとそれはもう極楽。ただ、



部屋の灯りをつけたままだと、いくら網戸にしても小さい虫が入ってくるので、最近は電気を消した暗い部屋でテレビを見ています。

虫と言えば、先日ブヨ（このあたりではブトと呼ぶようです）に

農山村での暮らしに興味を持つ若者を、地域活性化を目指す地方自治体に1年間派遣する事業「緑のふるさと協力隊」で、今年4月に奈良県から徳地串へやって来た喜下美穂さん。このコラムでは、喜下さんが、串のみなさんとの日々の暮らしの中で感じたことや気付いたことをつづります。

刺されました。それがまったくの初めてだったので、水ぶくれになり、かゆくてかゆくて結局お医者に行くはめになりました。それ以来、すき間がないように完全防備で畑に出ています。でもいまだにどれがブヨなのかよく分かっていません。

こちらに来て驚いたことの1つが、イベントなどがあると、いつも地域の人が集まってあれよあれよと食事が作られていくことです。（最近ではその光景にもすっかり慣れてしまったのですが…）7月に実施された「グローバル交流 in 串」で留学生や県立大学の学生が訪れた時もそうですが、来てくれた人に喜んでもらおうと食事を含め準備する。そして見送った後、楽しんでくれたね、よかったね、と笑顔で話す。こんな人たちがいる場所だから、私も居心地よく暮らせるのだなあと改めて感じます。



セミの声を聞きながら、串の冬の寒さを心配しつつある今日このごろでした。

GO!2011

おいでませ!山口国体 おいでませ!山口大会



ちよるる通信

■問い合わせ 市国体推進局総務企画課（市実行委員会事務局）
☎ 083-984-8121 ☒ <http://www.choruru.net/>

大会マスコットキャラクターの「ちよるる」です。
今月は、ホッケー競技を紹介します。
環境問題にも取り組むよ!

教えてちよるる 「カーボンオフセット」



カーボンオフセットって何?

イベント等の開催に伴い排出される温室効果ガス（カーボン）のうち、削減努力をおこなっても、どうしても削減できない排出量の全部または一部を、他の場所で削減につながる活動に協力することで、埋め合わせ（オフセット）をする取り組みだよ。

具体的にはどうするの?

選手や大会関係者、観客のみなさんから募金により集まった資金でCO₂削減量（クレジット）を購入するよ。その結果、省エネルギー設備の導入や森林整備などの温室効果ガス削減事業へ資金を提供することになるんだよ。

どんな所で取り組まれているの?

サッカーの「FIFA ワールドカップ」や「洞爺湖サミット」、県内では「きらら物産・交流フェア」でも取り組まれているんだよ。

市では、スポーツ大会等のイベントを開催する際に、公共交通機関の利用促進やごみの減量化を推進するなど、環境に配慮したイベントの実施に努めています。全国から多くの選手や関係者、観客のみなさんが来場する国体の開催においても、環境にやさしい大会となるよう、さまざまな取り組みを実施する必要があります。

そこで、国体のリハーサル大会である「全日本社会人ホッケー選手権大会」（9月11日～12日開催）と「全日本体操競技団体・種目別選手権大会」（12月3日～5日開催）では、新たに地球温暖化対策を目的とする「カーボンオフセット」など、環境に配慮した取り組みを試行します。みなさんのご協力をお願いします。

「ちょっとしたこと」の積み重ねが大切です ～みなさんのご協力をお願いします～



公共交通機関を利用しましょう。
…自家車の乗り合いも有効です。



自分のごみは持ち帰り、ごみを出さないようにしましょう。
…会場にごみ箱は設置しません。

カーボンオフセットに取り組みましょう。
…会場に募金箱を置いています。



環境に配慮した国体にご協力ください

応援します! 山口国体・山口大会

vol.6 山口観光コンベンション協会理事長 おおばたつとし 大庭建敏さん



当協会では、来年開催される山口国体を機に、来訪者への観光情報の発信を強化し、リピーターの確保に力を入れることとしており、現在「やまぐち市観光キャラバン隊」と連携し、県内外に広く山口市のPRを実施しています。今年度は、国体開催のメリットを数値で表すために、各リハーサル大会でアンケートを

実施し、山口市における経済波及効果の測定を行っております。また、山口駅2階の事務所に国体グッズの展示や販売を手掛けており、多くの方にご利用いただいております。48年ぶりに行われる山口国体を成功させるための第一歩として、来訪者を「おいでませ!」という気持ちを含めて、笑顔でお迎えしましょう。



競技概要



スピード感のあふれる試合展開から目が離せません！

○競技の特徴

先の曲がった木製のスティックを使い、ドリブルやパスをして、相手ゴールにボールを入れて得点を競います。試合は前後半、各 35 分で 5 分のハーフタイムがあります。1 チーム 11 人で競技し、時間内であれば何回でも交代することができます。



リハーサル大会

全日本社会人ホッケー選手権大会

期間 9 月 11 日 (土) ～ 12 日 (日) [山口市会場]

場所 山口きらら博記念公園多目的ドーム

※岩国市会場 (玖珂総合公園人工芝グラウンド)
では、9 月 11 日 (土) ～ 15 日 (水) まで開催されます。(山口 KUGA クラブが出場)

☆ちよるるの観戦 アドバイス☆

ゴール前にある「シューティングサークル」の中から打ったシュートしか得点にならないって知ってた？
スティックで打ったボールは、時速 150 キロを超えるときがあるよ！



選手紹介



山口クラブ所属
たにぐち じゆい

谷口 樹衣 さん
(宇部総合支援学校教諭)

Q1 競技を始めたきっかけは？

小学校 5 年生の時、体育の先生に勧められ、始めました。

Q2 競技の魅力を教えてください。

めまぐるしく攻守が変わる試合展開と、スピード感あふれるプレーです。

Q3 思い出に残っている試合はありますか？

2006 年、念願の日本一になった全日本ホッケー王座決定戦です。

Q4 「おいでませ！山口国体」への思いと目標を！

山口国体への出場を果たし、ベスト 4 以上を目標に、チーム一丸となって頑張ります！

国体 トピックス

花いっぱい運動 ～きらめきロード～



秋穂二島地域の様子

花いっぱい運動の一環として、競技会場周辺道路の遊休農地に国体推奨花であるコスモスを植え、来場者を歓迎する「きらめきロード推進事業」に秋穂二島と阿知須地域が取り組んでいます。7 月に種をまき、10 月には満開のコスモスがみなさんをお迎えする予定です。

みんなで国体に参加しよう！

クリーンアップ運動 ～大内まちづくり協議会～



清掃作業の様子

8 月 8 日 (日) 「おいでませ！山口国体」バレーボール競技の会場である、大内長野のやまぐちリフレッシュパーク周辺にて、大内まちづくり協議会の主催で清掃活動が行われました。当日は、地域の方や地元企業の方など約 120 人が参加され、主に道路に積もった砂や泥を除去する作業により、大変きれいになりました。

information お知らせ

敬老祝い金をお渡しします

長寿を祝い、敬老の日前後に、民生委員・市職員が訪問等により敬老金を支給します。



対象（すべてに該当する方）

・6月1日現在、山口市に住民登録・外国人登録をしている方（8月31日までに死亡、転出した方を除く）
・今年度88歳（米寿）、100歳（上寿）になる方（大正11年4月2日～大正12年4月1日、明治43年4月2日～明治44年4月1日生まれの方）

問 市高齢・障害福祉課

☎0833・934・2793

障害のある方に「ふれあいレク大会」

日時 10月3日（日）10時～15時

場所 市阿知須健康福祉センター（おげんきかん阿知須2740）ほか

内容 講演、囲碁、ボッチャ、グラウンドゴルフ、散策

対象 障害のある方、障害者ボランティア（1人1種目に限る）

参加費 無料（食食は有料であつせん）

持参品等 飲み物、運動できる服装

申 9月14日（火）までに、山口市障害者団体連合会（☎083・928・5432 FAX 083・928・5436）

「親子ふれあいのつどい」を開催

日時 10月16日（土）9時～19時30分

内容 関門海峡ドラマシップ・海響館バスツアー

対象 県内在住のひとり親家庭（母子・父子）の親と年長以上の子ども

参加費 中学生以上2200円、小学生以下1400円（食食代含む）

乗車場所 県母子福祉センター、新山口駅前

申 9月15日（水・必着）までに、郵送またはFAXで、〒住所、参加者全員の氏名・ふりがな・年齢・学年、電話番号、希望乗車場所を明記の上、県母子福祉センター

- 山口総合支所
- 小郡総合支所
- 秋穂総合支所
- 阿知須総合支所
- 徳地総合支所
- 阿東総合支所

- 〒753・8650 亀山町2・1
- 〒754・8511 小郡下郷609・1
- 〒754・1192 秋穂東6570
- 〒754・1292 阿知須2743
- 〒747・0292 徳地堀1744
- 〒759・1512 阿東徳佐中3417・2

ビジネス連携支援補助金のご案内

ビジネス連携による新商品の開発、販路の開拓に掛かる費用の一部を助成します。詳細は、お問い合わせください。※制度内容や申請様式等は、市ホームページ（表紙参照）にも掲載

対象 市内の中小企業・農林漁業者

補助額 補助率3分の2…限度額100万円／補助率2分の1…限度額50万円※審査の評価により決定

申 市商工振興課（山口総合支所）☎083・934・2812

（〒753・0054 富田原町4・58 ☎083・923・2490 FAX 083・923・2496）

山口の文化財を守る会郷土史講座

日時 9月18日（土）13時30分～15時30分

場所 大蔵地域交流センター
演題 日本画の歴史

指定管理者募集のお知らせ

市では、市有施設の管理・運営を民間事業者等へ委託する「指定管理者制度」を導入しています。今年度は、下記の施設について指定管理者の募集を行います。

■要項・仕様書の配付 9月1日（水）から下表の担当課で配付、または、市ホームページ（表紙参照）にも掲載
※募集に関する現地説明会、質問事項等については担当課までお問い合わせください。

施設の名称	指定期間	受付期間	問い合わせ
山口勤労者総合福祉センター	平成23年4月1日～平成26年3月31日（3年間）	9月14日（火）～10月8日（金）	市商工振興課 ☎083-934-2719
市柔剣道場		9月15日（水）～10月20日（水）	市生涯学習・スポーツ振興課 ☎083-934-2875
市スポーツの森			

- ☎083・922・4111
- ☎083・973・2411
- ☎083・984・2121
- ☎0836・65・4111
- ☎0835・52・1112
- ☎083・956・0111

全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談（無料）」強化週間

■期間 9月6日（月）～12日（日） ■時間 平日…8時30分～19時／土・日曜…10時～17時

■相談電話 ☎ 050-3381-8673、090-3172-5659 ■問い合わせ 山口地方法務局人権擁護課（☎ 083-922-2295）

9月10日～16日は自殺予防週間です

現代社会では、誰もが心の健康を損なうおそれがあります。近年、自殺による死亡が全国的に増加し、深刻な社会問題となっています。わが国の自殺者数は平成10年以降連続して3万人を上回り、減少が見られない状態です。「あなたの身近な人の様子がいつもと違う、またその状態が長引いている」それは、もしかしたら心の病気や自殺のサインかもしれません。大切な人を自殺でなくさないために、かけがえのない命をみんなですりましょう。

自殺予防のための行動～3つのポイント～

- 周りの人の悩みに気づき、耳を傾ける
 - ・ 家族や仲間の変化に敏感になりましょう。
 - ・ じっくりと話を聞く場をもち、相手の気持ちを尊重して共感しましょう。
- 心の病気の兆候があれば、早めに専門家に相談するよう促す
- 温かく寄り添いながら、じっくりと見守る
 - ・ 体や心の健康状態について配慮し、優しく見守りましょう。
 - ・ 必要に応じて主治医に情報を提供しましょう。

【山口自死遺族の集い クローバー】

大切な方を自殺でなくされたご遺族が、自身の体験や思いを安心して語り合い分かち合う場です。

- 日時 毎月第3土曜（8・12月を除く）13時～15時30分
 - 場所 防府総合庁舎（防府市駅南町13-40）
 - 参加費 無料（茶菓子代として200円ご協力をお願いします）
 - 問い合わせ 県精神保健福祉センター（☎ 0835-27-3480）
- ※初めて参加される方は、電話でお問い合わせください。

江戸時代、明治時代初期の古文書を

「古文書講座」 受講者募集（無料）

■講師 内田伸氏（郷土史家）
■定員 約50人（先着順 申込不要）
■参加費 2000円（資料代）
■事務局（市文化財保護課内）
083・920・4111

読む、初級～初中級の講座です。
■日時 10月～平成23年3月の間の第3土曜14時～15時30分（全6回）
■定員 30人
※応募多数の場合抽選
■所定 9月15日（水）までに、往復ハガキに、〒住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、市歴史民俗資料館（〒753・0073 春日町5-1）☎ 083・924・7001

ご覧ください

山口市の広報番組 9月の放送予定です



ラジオ番組 Radio Program

シティ・インフォメーション

FM山口 毎週月・金曜の
9時25分から4分間放送

やまぐちマイタウン

山口放送（KRY）
毎週木曜の13時40分
から5分間放送



2コーナーで構成。人
や文化、歴史などの
地域資源を紹介する
情報番組です。

山口ケーブルビジョン（12チャンネル）

■「このまちに愛たい」「infoやまぐち」番組表

曜 日	9/1(水)～15(水) ①
月、水、金、日	7:35 ※12:25 21:50
火、木、土	※7:55 12:05 ※22:10
曜 日	9/16(木)～30(木) ②
月、木、日	7:35 12:05 ※22:10
火、金	7:35 ※12:25 21:50
水、土	※7:55 12:05 21:50

※「info やまぐち」のみの放送（10分）

「このまちに愛たい」（20分）

- ① 霧・光線・サウンドの融合した世界を
YCAMで体験しよう！
- ② 豊かな自然に囲まれた暮らしを体感中！
「緑のふるさと協力隊 喜下さんの串暮らし」

インフォ
「infoやまぐち」（10分）

1週間更新で、市からのお知らせを放映



市政のPR から地域情
報まで、生活に身近な
話題を幅広くお届け
します。

山口朝日放送（YAB）

毎週水曜9時55分から4分間放送

1・8・15日 「山口開府 650 年記念事業」

22・29日 「山頭火没後 70 年」

私たちのまち



市政情報や各種イ
ベント情報などを
分かりやすくお伝
える番組です。

テレビ山口（TYS）

毎週日曜11時40分から4分間放送

5・12日 「山口ゆらめき回廊」

19・26日 みんなおいでよ！
親子ふれあいジャンボリー

○番組の感想をお寄せください

〒753-8650 山口市亀山町2-1
市広報広聴課あて

☐ koho@city.yamaguchi.lg.jp

まつりで暑さも吹き飛んだ！ 浴衣サイコー！

晴天のもと、第24回おおとし夏まつりが大蔵小学校グラウンドにて開催されました。オープニングセレモニーでは、山口国体マスコットキャラクターの「ちよるる」や、今年から募集した「浴衣姿のおまつり看板娘」のみなさんなどによる、恒例のあめまき・もちまきが行われ、子どもからお年寄りまでみんな夢中でたくさん拾っていました。また、その他のイベントや出店もあり、大蔵地域内外から家族連れなど多くの人で賑わいました。
(7月31日、大蔵地域交流センター)



21の地域づくり

まちかど レポート

7・8月のできごと

各地域交流センターからの、地域の行事などのレポートです。
そのほか、市広報広聴課からも、レポートしていきます。

■問い合わせ 市広報広聴課
(☎ 083-934-2753)



協働のまちづくり
推進キャラクター
キョードーレッド



青竹を使って、バウムクーヘン作り

陶地域の子ともと大人15人がバウムクーヘン作りに挑戦しました。卵とバターたっぷりの生地を青竹にかけて炭火の上でクルクル回し、表面が焼けるとまた生地をかけて回すこと十数回。バウムクーヘンを竹から抜いて輪切りにすると、木の切り株そっくりの姿が現れました。参加者は「年輪ができちよる〜！」と甘くておいしい焼きたてのバウムクーヘンをいただきました。(7月28日、陶地域交流センター)

右、左、右、左♪

小鯖地区夏休み子ども体験教室として「森林セラピー&カヌー体験」を徳地大原湖で行いました。午前中は森林を気持ちよく散策し、午後からは待ちに待ったカヌー体験。気温30度を超える暑さにもかかわらず元気いっぱい楽しんでいました。またひとつ夏休みの思い出ができましたね。
(7月23日、小鯖地域交流センター)



よさこい体験！

サッ、サッ、イヤサー、夏祭りへも参加

佐山地域交流センターでは、センターを利用される団体をお願いして、夏休み子ども講座を開催しています。写真は昨年発足した「佐山よさこいず」が講師を務める「よさこい体験」です。毎年佐山各地区で夏祭り・盆踊りが開催されていて、そこに飛び入りでよさこいずが参加されることもあるんですよ！

(8月2日、佐山地域交流センター)



はじめまして おおちゃん、うっちーです

大内氏による山口開府 650 年を記念して、大内人形をモチーフに誕生したキャラクターの愛称を、山口祇園祭市民総踊りの開催に合わせ発表しました。

大内文化が色濃く残る本市のイメージと、大きくて丸い体型にちなんで、お殿様の名前は「おおちゃん」、お姫様は「うっちー」です。これから、2人で力を合わせ、山口の魅力を全国に発信していきます。(7月24日、市広報広聴課)



夏の風物詩

吉敷地域交流センターで、こどもステーション山口による「ソーメン流しとスイカ割り大会」が開催されました。総勢 50 人の子どもたちが集合し、流れてくるソーメンやフルーツを口いっぱいにはおぼったり、スイカ割りを楽しんだりしました。気温は 30 度を超えるような暑い中でしたが、子どもたちと一緒にひとときの涼しさを感じることができた一日でした。

(7月26日、吉敷地域交流センター)



友だち 100 人できたかな？

秋穂の子ども会と阿東の子ども会の交流事業、キャンプインあとうが行われました。この交流事業は、毎年山のある阿東地域と海に面した秋穂地域で交互に実施しているものです。

今年は阿東地域で実施され、両地域の小学生など約 60 人が参加、山での遊びを体験しました。

秋穂と阿東の子どもが協力して作ったソーセージをバーベキューで味わった後、ソーメン流しや川遊びで自然を満喫しました。子どもたちもたくさんの新しい友だちができ、大満足の様子でした。

(8月7・8日、秋穂地域交流センター)



川の中にはなにがあるの？

「捕れた！」と歓声をあげる子どもと、子どもに戻った大人たち。

白石地区青少年健全育成協議会主催の「川あそび」では、多くの親子連れが参加し、暑さと時間を忘れて自然とのふれあいを楽しみました。

強い日差しの中、さらさらと流れる冷たい水は、新鮮でとても気持ちいいものでした。

普段は道の上から眺める川にも、ハヤやナマズ、カニなどいろいろな生き物がいっぱい。自然のおもしろさと大切さを体感できたかな。

(7月31日、白石地域交流センター)

イベントカレンダー



※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名 (開催地域) 問い合わせ先 (電話番号)	全国コミュニティシネマ会議 2010 in 山口 (~ 11 日) (白石) 山口情報芸術センター (☎ 083-901-2222)	山口ゆらめき回廊 (~ 20 日) (大殿) 市観光課 (☎ 083-934-2810)
10 (金)	特別企画展 「河上徹太郎と中原中也 ーその詩と真実」 (~ 10 月 3 日) (湯田) 中原中也記念館 (☎ 083-932-6430)	18 (土)	公開講演「編集者の見た河上 徹太郎」 (湯田) 中原中也記念館 (☎ 083-932-6430)
12 (日)	市民体育大会 (各地域) 市生涯学習・スポーツ振興課 (☎ 083-934-2874) ふしの川漁協まつり (平川) 榎野川漁業協同組合 (☎ 083-922-3537)	25 (土)	アートふるリバーナイト (~ 26 日、30 日、10 月 1 日 ~ 2 日) (大殿) 実行委員会 (☎ 083-920-9220)
1 (水)	中谷芙二子+高谷史郎 「CLOUD FOREST」 (~ 10 月 17 日) (白石) 山口情報芸術センター (☎ 083-901-2222)	防府市 大平山観月会 美しい秋の月夜は大平山山頂公園で。 驚くほどの澄んだ空気に心癒されます。 ■日時 9 月 22 日 (水)、23 日 (木) 祝) 各日 19 時から ■場所 大平山山頂公園 (防府市大字 牟礼 138-4) ■内容 日本舞踊、吟詠会、音楽演奏 会、だんごサービス ほか ※山頂公園への道路は通行止めです。 大平山ロープウェイをご利用ください。 ■問い合わせ 大平山ロープウェイ (☎ 0835-38-0442)	
3 (金)	没後 70 年記念展 「山頭火一生と死」 (~ 10 月 31 日) (小郡) 市小郡文化資料館 (☎ 083-973-7071) おいでませ! 山口国体・山口 大会リハーサル大会 全国センター・ファイア・ピ ストル射撃競技大会 (~ 4 日) (仁保) 市国体推進局総務企画課 (☎ 083-984-8121)	宇部市 山口宇部空港 「空の日」記念フェスティバル ■期日 9 月 11 日 (土) ■内容 ・滑走路見学 (5 回開催) 各回先着 100 人 (8 時 30 分、11 時受付) ・送迎デッキ無料開放、フライトシュ ミレーター操作体験 ・工作教室、スケッチ大会 など ■問い合わせ 「空の日」実行委員会 (☎ 0836-21-5841)	



近隣自治体と広報紙
で情報を交換してい
ます。

表紙写真から 中谷芙二子+高谷史郎「CLOUD FOREST」

表紙は、山口情報芸術センター (YCAM (ワイカム)) で開催中の企画展「CLOUD FOREST」で、中央公園に展示された霧の彫刻の様子です。撮影した 8 月 8 日は会期 2 日目で、夏の暑い日差しが降り注ぐ中、多くの子どもたちや親子連れがつどい、楽しそうに作品を体感していました。

この企画展は山口開府 650 年記念事業として開催しています。室町時代、大内氏はその高い先見性により山口を「西の京」と言わしめるまでの国際都市に発展させました。山口開府 650 年目にあたる現在、YCAM でも大内時代からの進取の気風を引き継ぎ、新たな価値を創造・提案する作品を制作し、全国、世界に発信しています。「CLOUD FOREST」とは、熱帯・亜熱帯地域の山地で霧が多く湿度の高い場所に発達する常緑樹林＝雲霧林のことで、そこにはたぐいまれな生物多様性に優れる貴重な生態系が形成されています。今回の作品は、大内氏の時代に山口を訪れた明使・趙秩 (ちょうちつ) が詠んだ山口十境詩にもある、榎野川か

ら発生した霧に包まれる山口の情景をアイデアのひとつにしています。霧を題材として制作活動を展開するアーティストの中谷芙二子氏とメディアアーティストの高谷史郎氏が、私たちを取り巻く複雑な環境圏を多様な視点から検証し、共同で制作しました。企画展は 3 つの作品から構成され、YCAM 館内の中庭とホワイエにも、外部環境などによって刻々と変化する霧の彫刻と音の作品を展示しています。8 月 8 日に開催されたアーティストトークでは、この作品が YCAM の特徴的な空間とスタッフ、さまざまな関係者のもと、参加アーティストの斬新で緻密 (ちみつ) な発想と最新の情報技術を結集して実現されたことが語られました。

会期は 10 月 17 日 (日) まで。ぜひ、ご来場ください。

■問い合わせ 山口情報芸術センター
(☎ 083-901-2222)



中庭の様子